

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2020.9.21-27

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

34:8 ゼデキヤ王がエルサレムにいるすべての民と契約を結んで、彼らに奴隷の解放を宣言して後、主からエレミヤにあったみことば。

34:9 ・ ・ それは各自が、ヘブル人である自分の奴隷や女奴隷を自由の身にし、同胞のユダヤ人を奴隷にしないという契約であった。

34:10 契約に加入したすべての首長、すべての民は、それぞれ、自分の奴隷や女奴隷を自由の身にしておいて、二度と彼らを奴隷にしないことに同意し、同意してから彼らを去らせた。

34:11 しかし、彼らは、そのあとで心を翻した。そして、いったん自由の身にさせた奴隷や女奴隷を連れ戻して、彼らを奴隷や女奴隷として使役した。 ・ ・

34:12 そこで、主からエレミヤに次のような主のことばがあった。

34:13 「イスラエルの神、主は、こう仰せられる。『わたしが、あなたがたの先祖をエジプトの国、奴隷の家から連れ出した日に、わたしは彼らと契約を結んで言った。

34:14 七年の終わりには、各自、自分のところに売られて来た同胞のヘブル人を去らせなければならぬ。六年の間、あなたに伝えさせ、その後、あなたは彼を自由の身にせよと。しかし、あなたがたの先祖は、わたしに聞かずに、耳を傾けなかった。

34:15 しかし、あなたがたは、きょう悔い改め、各自、隣人の解放を告げてわたしが正しいと見ることを行ない、わたしの名がつけられているこの家で、わたしの前に契約を結んだ。

34:16 それなのに、あなたがたは心を翻して、わたしの名を汚し、いったん自由の身にさせた

奴隷や女奴隷をかってに連れ戻し、彼らをあなたがたの奴隷や女奴隷として使役した。』

34:17 それゆえ、主はこう仰せられる。

『あなたがたはわたしに聞き従わず、各自、自分の同胞や隣人に解放を告げなかったのので、見よ、わたしはあなたがたに ・ ・ 主の御告げ。 ・ ・ 剣と疫病とききんの解放を宣言する。わたしは、あなたがたを地のすべての王国のおののきとする。

34:18 また、わたしの前で結んだ契約のことばを守らず、わたしの契約を破った者たちを、二つに断ち切られた子牛の間を通った者のようにする。

34:19 二つに分けた子牛の間を通った者は、ユダの首長たち、エルサレムの首長たち、宦官と祭司と一般の全民衆であった。

34:20 わたしは彼らを、敵の手、いのちをねらう者たちの手に渡す。そのしかばねは空の鳥、地の獣のえじきとなる。

34:21 わたしはまた、ユダの王ゼデキヤとそのつかさたちを敵の手、いのちをねらう者たちの手、あなたがたのところから退却したバビロンの王の軍勢の手に渡す。

34:22 見よ、わたしは命じ、 ・ ・ 主の御告げ。 ・ ・ 彼らをこの町に引き返させる。彼らはこの町を攻め、これを取り、火で焼く。わたしはユダの町々を、住む者もない荒れ果てた地とする。』

バビロン軍が攻撃をしかけている間は、イスラエルの民は危機感から、神に従おうと思いました。それで奴隷を解放したのですが、エジプト軍によりバビロン軍が去った後に、安心感から神に従わなくなり、また奴隷を連れ戻して使役するようになってしまいました。

このように心から神様に従わない者は、また背くようになってしまいます。その結果はイスラエルにとっては滅びでした。喜びを動機として、真心によって主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



35:1 ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの時代に、主からエレミヤにあったみことばは、こうである。

35:2 「レカブ人の家に行って、彼らに語り、彼らを主の宮の一室に連れて来て、彼らに酒を飲ませよ。」

35:3 そこで私は、ハバツィヌヤの子エレミヤの子であるヤアザヌヤと、その兄弟と、そのすべての息子と、レカブ人の全家を率い、

35:4 彼らを主の宮のイグダルヤの子、神の人ハナンの子らの部屋に連れて来た。それは、首長たちの部屋の隣にあり、入口を守る者シャルムの子マアセヤの部屋の上にあった。

35:5 私は、レカブ人の家の子たちの前に、ぶどう酒を満したつぼと杯とを出して、彼らに「酒を飲みなさい。」と言った。

35:6 すると彼らは言った。「私たちはぶどう酒を飲みません。それは、私たちの先祖レカブの子ヨナダブが私たちに命じて、『あなたがたも、あなたがたの子らも、永久にぶどう酒を飲んではいけません。』」

35:7 あなたがたは家を建てたり、種を蒔いたり、ぶどう畑を作ったり、また所有したりしてはいけません。あなたがたが寄留している地の面に末長く生きるために、一生、天幕に住め。』と言ったからです。

35:8 それで、私たちは、私たちの先祖レカブの子ヨナダブが私たちに命じたすべての命令に聞き従い、私たちも、妻も、息子、娘たちも、一生、ぶどう酒を飲まず、

35:9 住む家も建てず、ぶどう畑も、畑も、種も持ちません。

35:10 私たちは天幕に住み、すべて先祖ヨナ

ダブが私たちに命じたとおりに、聞いて行なってきました。

35:11 しかし、バビロンの王ネブカデレザルがこの国に攻め上ったとき、私たちは『さあ、カルデヤの軍勢とアラムの軍勢を避けてエルサレムに行こう。』と言って、エルサレムに住んだのです。』

レカブの人々は異邦人ではありませんでしたが、神に従う命令を忠実に守っていました。自分たちとは違い、信仰がないように見える人々からも教えられることはあります。主に喜ばれるのは、人の立場ではないからです。私たちも色々な人々から学びましょう。

ノクリスチャンでも正しい生き方をする人がいます。それが信仰から出ていなくて、一部にしか過ぎなくても、その点においては優れているといっても良いでしょう。若い人々、信仰年齢の浅い人などからも学びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



35:12 そこで、エレミヤに次のような主のことばがあった。

35:13 「イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。行って、ユダの人とエルサレムの住民に言え。『あなたがたはわたしのことばを聞いて懲らしめを受けようとしないので、主の御告げ。』」

35:14 レカブの子ヨナダブが、酒を飲むなど子らに命じた命令は守られた。彼らは先祖の命令に聞き従ったので、今日まで飲まなかった。ところが、わたしがあなたがたにたびたび語っても、あなたがたはわたしに聞かなかった。

35:15 わたしはあなたがたに、わたしのしもべであるすべての預言者たちを早くからたびたび送って、さあ、おのおの悪の道から立ち返り、行ないを改めよ。ほかの神々を慕ってそれに仕えてはならない。わたしがあなたがたと先祖たちに与えた土地に住めと言ったのに、あなたがたは耳を傾けず、わたしに聞かなかった。

35:16 レカブの子ヨナダブの子たちは、先祖が命じた命令を守ってきたのに、この民はわたしに聞かなかった。』

35:17 それゆえ、イスラエルの神、万軍の神、主は、こう仰せられる。『見よ。わたしはユダと、エルサレムの全住民に、わたしが彼らについて語ったすべてのわざわいを下す。わたしが彼らに語ったのに、彼らが聞かず、わたしが彼らに呼びかけたのに、彼らが答えなかったからだ。』」

35:18 エレミヤはレカブ人の家の者に言った。「イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せら

れる。『あなたがたは、先祖ヨナダブの命令に聞き従い、そのすべての命令を守り、すべて彼があなたがたに命じたとおりに行なった。』

35:19 それゆえ、イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。『レカブの子、ヨナダブには、いつも、わたしの前に立つ人が絶えることはない。』」

イスラエルの人々にしてみれば、異邦人から学べと言われるのは、プライドに傷がついかもできません。自分たちは選民であるという自負が強かったからです。しかしこのプライドが彼らを強情にし、また間違った安心を与えたのです。その結果、かえって選民らしからぬ者となってしまいました。

私たちはプライドを忘れましょう。自分の立場、信仰年齢、過去の実績からくる間違った自己欺瞞を捨てて、始めのことのような純粋さ、ひたむきさを取り戻していただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



36:1 ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの第四年に、主からエレミヤに次のようなみことばがあった。

36:2 「あなたは巻き物を取り、わたしがあなたに語った日、すなわちヨシヤの時代から今日まで、わたしがイスラエルとユダとすべての国々について、あなたに語ったことばをみな、それに書きしるせ。

36:3 ユダの家は、わたしが彼らに下そうと思っっているすべてのわざわいを聞いて、それぞれ悪の道から立ち返るかもしれない。そうすれば、わたしも、彼らの咎と罪とを赦すことができる。」

36:4 それでエレミヤは、ネリヤの子バルクを呼んだ。バルクはエレミヤの口述に従って、彼に語られた主のことばを、ことごとく巻き物に書きしるした。

36:5 そしてエレミヤは、バルクに命じて言った。「私は閉じ込められていて、主の宮に行けない。

36:6 だから、あなたが行って、主の宮で、断食の日に、あなたが私の口述によって巻き物に書きしるした主のことばを、民の耳に読み聞かせ、また町々から来るユダ全体の耳にもそれを読み聞かせよ。

36:7 そうすれば、彼らは主の前に祈願をささげ、それぞれ悪の道から立ち返るかもしれない。主がこの民に語られた怒りと憤りは大きいからである。」

36:8 そこでネリヤの子バルクは、すべて預言者エレミヤが命じたとおりに、主の宮で主のことばの巻き物を読んだ。

36:9 ヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの第

五年、第九の月、エルサレムのすべての民と、ユダの町々からエルサレムに来ているすべての民に、主の前での断食が布告された。

36:10 そのとき、バルクは、主の宮の、書記シャファンの子ゲマルヤの部屋で、・・・その部屋は主の宮の新しい門の入口にある上の庭にあった。・・・すべての民に聞こえるように、その書物からエレミヤのことばを読んだ。

36:11 シャファンの子ゲマルヤの子ミカヤは、その書物にあるすべての主のことばを聞き、

36:12 王宮の、書記の部屋に下ったが、ちょうど、そこには、すべての首長たちがすわっていた。すなわち書記エリシャマ、シエマヤの子デラヤ、アクボルの子エルナタン、シャファンの子ゲマルヤ、ハナヌヤの子ゼデキヤ、およびすべての首長たちである。

36:13 ミカヤは、バルクがああ巻き物を民に読んで聞かせたときに聞いたすべてのことばを彼らに告げた。

36:14 すべての首長たちは、バルクのもとにクシの子シェムヤヤの子ネタヌヤの子エフディを遣わして言わせた。「あなたが民に読んで聞かせたああ巻き物、あれを手に持って来なさい。」そこで、ネリヤの子バルクは、巻き物を手に持って彼らのところにはいつて来た。

36:15 彼らはバルクに言った。「さあ、すわって、私たちにそれを読んで聞かせてくれ。」そこで、バルクは彼らに読んで聞かせた。

36:16 彼らがそのすべてのことばを聞いたとき、みな互いに恐れ、バルクに言った。

「私たちは、これらのことばをみな、必ず王に告げなければならない。」

36:17 彼らはバルクに尋ねて言った。

「さあ、どのようにして、あなたはこれらのことばをみな、彼の口から書きとったのか、私たちに教えてくれ。」

36:18 バルクは彼らに言った。「エレミヤがこれらすべてのことばを私に口述し、私が墨でこの巻き物に書きしるしました。」

36:19 すると、首長たちはバルクに言った。「行って、あなたも、エレミヤも身を隠しなさい。だれにも、あなたがたがどこにいるか知られないように。」

ここからは歴史的な記録です。エレミヤは自分が神殿に行けなかったので、バルクに頼みましたが、神のことばはエレミヤ本人がいなくても、このように人を動かす力がありました。神の権威があるからです。私たちも神のみことばの権威を信じて行動しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



36:20 彼らは巻き物を書記エリシャマの部屋に置き、庭の王のところに行ってこのすべての事を王に報告した。

36:21 王はエフディに、その巻き物を取りに行かせたので、彼はそれを書記エリシャマの部屋から取って来た。エフディはそれを、王と王のかたわらに立つすべての首長たちに読んで聞かせた。

36:22 第九の月であったので、王は冬の家の座に着いていた。彼の前には暖炉の火が燃えていた。

36:23 エフディが三、四段を読むごとに、王は書記の小刀でそれを裂いては、暖炉の火に投げ入れ、ついに、暖炉の火で巻き物全部を焼き尽くした。

36:24 王も、彼のすべての家来たちも、これらのすべてのことばを聞きながら、恐れようともせず、衣を裂こうともしなかった。

36:25 エルナタンとデラヤとゲマルヤは、巻き物を焼かないように、王に願ったが、王は聞き入れなかった。

36:26 王は、王子エラフメエルと、アズリエルの子セラヤと、アブデレルの子シェレムヤに、書記バルクと預言者エレミヤを捕えるよう命じたが、主はふたりを隠された。

36:27 王が、あの巻き物、バルクがエレミヤの口述で書きしるしたことばを焼いて後、エレミヤに次のような主のことばがあった。

36:28 「あなたは再びもう一つの巻き物を取り、ユダの王エホヤキムが焼いた先の巻き物にあった先のことばを残らず、それに書きしるせ。

36:29 ユダの王エホヤキムについてはこう言

え。主はこう仰せられる。あなたはこの巻き物を焼いて言った。『あなたはなぜ、バビロンの王は必ず来てこの国を滅ぼし、ここから人間も家畜も絶やすと書いたのか。』と。

36:30 それゆえ、主はユダの王エホヤキムについてこう仰せられる。彼には、ダビデの王座に着く者がなくなり、彼のしかばねは捨てられて、昼は暑さに、夜は寒さにさらされる。

36:31 わたしは、彼とその子孫、その家来たちを、彼らの咎のゆえに罰し、彼らとエルサレムの住民とユダの人々に、彼らが聞かなかったが、わたしが彼らに告げたあの上すべてのわざわいをもたらす。」

36:32 エレミヤは、もう一つの巻き物を取り、それをネリヤの子、書記バルクに与えた。彼はエレミヤの口述により、ユダの王エホヤキムが火で焼いたあの書物のことばを残らず書きしるした。さらにこれと同じような多くのことばもそれに書き加えた。

王エホヤキムは戒められるべき主のことばを無視して焼いてしまいました。その暖炉は彼を彼を暖めるものであり、彼の安泰を象徴しているようです。彼は自分が安泰なので、戒めなど聞く必要がないと思われたのでしょうか。しかし、皮肉なことに、彼は「寒さにさらされる」こととなります。自分のことしか考えない者は、安泰であれば主のことばに従いません。しかし主を愛する者は、安泰であることを主に感謝して、喜んで従います。そのような者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



37:1 ヨシヤの子ゼデキヤは、エホヤキムの子エコヌヤに代わって王となった。バビロンの王ネブカデレザルが彼をユダの国の王にしたのである。

37:2 彼も、その家来たちも、一般の民衆も、預言者エレミヤによって語られた主のことばに聞き従わなかった。

37:3 ゼデキヤ王は、シェレムヤの子エフカルと、マアセヤの子、祭司ゼパニヤを預言者エレミヤのもとに遣わして言った。「どうか、私たちのために、私たちの神、主に、祈ってください。」

37:4 ・・そのとき、エレミヤは民のうちに出入りして、まだ獄屋に入れられていなかった。

37:5 パロの軍勢がエジプトから出て来たので、エルサレムを包囲中のカルデヤ人は、そのうわさを聞いて、エルサレムから退却したときであった。・・

37:6 そのとき、預言者エレミヤに次のような主のことばがあった。

37:7 「イスラエルの神、主は、こう仰せられる。『わたしに尋ねるために、あなたがたをわたしのもとに遣わしたユダの王にこう言え。見よ。あなたがたを助けに出て来たパロの軍勢は、自分たちの国エジプトへ帰り、

37:8 カルデヤ人が引き返して来て、この町を攻め取り、これを火で焼く。』

37:9 主はこう仰せられる。『あなたがたは、カルデヤ人は必ず私たちから去る、と言って、みずから欺くな。彼らは去ることはないからだ。

37:10 たとい、あなたがたが、あなたがたを

攻めるカルデヤの全軍勢を打ち、その中に重傷を負った兵士たちだけが残ったとしても、彼らがそれぞれ、その天幕で立ち上がり、この町を火で焼くようになる。』」

エジプト軍がバビロン軍を退かせたので、人々は安心してしまいました。これでだいじょうぶという安心なことばを聞いたかったのでしょうか。しかし、そもそもエルサレムが包囲されたのは、イスラエルが神に従わなかったからです。

神との関係を忘れて、状況だけで判断する者の危うさがここにはあります。彼らは「カルデヤ人が引き返してくる」というエレミヤのことばに怒るのです。

状況だけを見て安心もできませんし、恐れることもできません。重要なのは神様との関係であり、神様の御心です。そこに目を留めましょう。そこを正していきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



37:11 カルデヤの軍勢がパロの軍勢の来るのを聞いてエルサレムから退却したとき、

37:12 エレミヤは、ベニヤミンの地に行き、民の間で割り当ての地を決めるためにエルサレムから出て行った。

37:13 彼がベニヤミンの門に来たとき、そこにハナヌヤの子シェレムヤの子のイルイヤと言う名の当直の者がいて、「あなたはカルデヤ人のところへ落ちのびるのか。」と言って、預言者エレミヤを捕えた。

37:14 エレミヤは、「違う。私はカルデヤ人のところに落ちのびるのではない。」と言ったが、イルイヤは聞かず、エレミヤを捕えて、首長たちのところに連れて行った。

37:15 首長たちはエレミヤに向かって激しく怒り、彼を打ちたたき、書記ヨナタンの家にある牢屋に入れた。そこを獄屋にしていたからである。

37:16 エレミヤは丸天井の地下牢に入れられ、長い間そこにいた。

37:17 ゼデキヤ王は人をやって彼を召し寄せた。王は自分の家でひそかに彼に尋ねて言った。「主から、みことばがあったか。」エレミヤは、「ありました。」と言った。そして「あなたはバビロンの王の手に渡されま

す。」と言った。
37:18 エレミヤはゼデキヤ王に言った。「あなたや、あなたの家来たちや、この民に、私が何の罪を犯したというので、私を獄屋に入れたのですか。」

37:19 あなたがたに『バビロンの王は、あなたがたと、この国とを攻めに来ない。』と言って預言した、あなたがたの預言者たちは、

どこにいますか。

37:20 今、王さま、どうぞ聞いてください。どうぞ、私の願いを御前にかなえて、私を書記ヨナタンの家へ帰らせないでください。そうすれば、私はあそこで死ぬことはないでしょう。」

37:21 そこでゼデキヤ王は命じて、エレミヤを監視の庭に入れさせ、町からすべてのパンが絶えるまで、パン屋街から、毎日パン一個を彼に与えさせた。こうして、エレミヤは監視の庭にとどまっていた。

エレミヤは神のことばを正しく預言しましたが、そのために虚偽の口実で捕らえられました。正しい者が苦難を受けるということもあるのです。しかし、その正しさのゆえに主は守ってくださいますから、自分の使命を投げ出さないように忍耐しましょう。

私たちも信仰のない人々の反対により、苦しめられるということもあるでしょう。そのようなときも主は、エレミヤのためにゼデキヤ王の守りがあったように、支えてくださいますから主に信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

